

難民問題は他人ごと？ 「～国境の狭間に置かれた人々に目を向けてみませんか？～」

【事業報告】

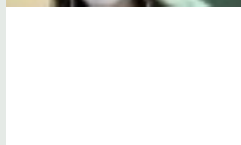
- 趣旨** 持続可能な開発目標（SDGs）達成への取り組みが、国、企業、消費者に急速な広がりを見せる中、学校教育の中でも取り扱われるようになった。また、起業家教育も探求思考の涵養や社会参画の観点からその重要性が言われるようになってきている。
本事業では青少年教育における持続可能な社会の担い手育成（ESD）の観点から、学生の社会との関わりを中心とした「外向き」志向の涵養を目指し、社会起業家（ソーシャル・アントプレナー）精神に触れる機会と場を提供する。
- 主催** 独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立夜須高原青少年自然の家
西南学院大学 KARDIANOIA 模擬入管
- 開催日時** 令和3年12月18日（土）13:00～15:00
- 会場** WEB配信（ZOOM）
- 対象** 高校生、大学生等
- 参加者** 13名
- 日程**

日時	12月18日（土）
12:50	受付
13:00	開会 プレセッション（講師紹介）
13:05	特別講演（講師：吉山 昌 氏）
14:00	感想会
14:30	日独学生青年リーダーオンライン交流会報告 （西南学院大学3年 藤田 百華 氏）
14:50	閉会

8 活動の実際



- ・法的支援
- ・生活支援
- ・就労支援
- ・コミュニティ支援
- ・政策提言
- ・広報活動



事業概要

○趣旨

ボランティア活動を行っている日本とドイツの学生の交流を推進することで、高い国際感覚を備えた青少年の育成を図る。

○参加対象者

- ・日本国籍を有し、青少年団体等でリーダーとして継続的にボランティア活動や社会貢献活動を行っている高等学校、高等専門学校、短期大学、大学、大学院等の学生。
- ・2021年4月1日現在、16歳以上26歳以下の人

9 感想（アンケート自由記述より）

- ・ 難民問題について詳しく知れて良かった。
- ・ 難民問題について状況を知ることができ、意見を交換することができた。
- ・ 難民支援の現状をご報告いただき、参考になった。
- ・ 自分がこの問題とどのように向き合えば良いのかヒントをもらった。
- ・ 意見を交換し考えを深めることができた。

10 成果

アンケート自由記述では、「自分がこの問題とどのように向き合えば良いのかヒントをもらった」、「難民問題について状況を知ることができ参考になった」とあった。これらから学生の「外に目を向けてみよう」、「自分にもできることがありそうだ」という心境、心持ちの変化が見て取れる。よって、本事業の趣旨である学生の社会との関わりを中心とした「外向き」志向の涵養を目指すことと、社会起業家精神に触れる機会と場を提供することにおいて成果があったといえる。

また、西南学院大学との連携事業として、学生主体で企画運営を行い、担当職員が必要に応じてサポートすることで学生の可能性を広げることができた。

11 課題

ともに企画運営を行った西南学院大学学生との十分な意思疎通が必要である。いつまでに何をする必要があるか、見通しをもって企画を進めていくにはどのようにすべきかなど、すり合わせがうまくできていない部分があり、もう少しミーティングの機会や場を設ける必要があった。

募集期間の短さや広報不足により参加者が思うように集まらなかった。今後、チラシの配布や募集期間について検討する必要がある。

また、オンライン開催によるアンケートの回収率が低い。参加者には事業終了後に改めてアンケートをメール送付しているが思うように回収できていない。オンライン開催とした際のアンケートの回収率を上げるための検討が必要である。